

# かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和5年1月号



## 3学期始業式 学校長の話 ～失敗は簡単なところで～

みなさん明けましておめでとうございます。今日のお話は、今から700年くらい前、兼好法師という人が書いた徒然草の中の「高名の木登り」というお話です。

あるところに、とても有名な木登りの名人がいました。その名人は、他の人が高い木の上の方で枝を切っているときには何も声をかけなかったのに、その人が、枝を切り終わって、屋根の一番低いところくらいまで降りてきたとき、初めて「失敗するなよ。けがをしないように気をつけて降りなさい」と声をかけました。それを不思議に思った兼好さんは、「飛び降りられるくらいの低さになってから声をかけたのはどうしてですか？」と名人に尋ねると、名人はこう答えました。「まさにそこなのです。目がクラクラして、枝が

やねの いちばんひくいところ  
くらいまで おりてきたときに  
はじめて



「けがをしないよう  
きをつけて  
おりなさい」



細くて危ない時には、こわいので本人は言われなくても気をつけます。失敗は、必ず簡単なところになってからおきるものです。」それを聞いた兼好法師は、この名人は、聖人とよばれるような人と同じ事をいっていると感動して、こうして文章に残したのでした。

みなさんも、難しいところは集中して上手にできたのに、つい気が緩んで簡単なところで失敗してしまったことはないでしょうか。令和4年度も残りわずかとなりました。「なれているからだいじょうぶ」と油断せずに事故やけがに気をつけて過ごしましょう。

3学期の登校日数は、48日ですが、今年度のまとめと、次の学年にむかう準備をするために、とても大切な学期です。充実した学期になることを願っています。また、新型コロナウイルスの流行も3年が過ぎましたが、流行がなくなったわけではありません。手洗い・消毒・マスク・換気など、感染対策も、なれずに続けていきましょう。

では最後に、今年「2023年」にちなんだ「算数クイズ」を2つ出します。

じっくり考えてみた  
い人は、校長室前に問  
題を貼っておくので、  
見に来てください。

「2023」のさんすうクイズ その1

$$\square + \square - \square + \square = 5$$

マッチぼうを1本だけうごかして、  
ただししいきにしましょう。

※こたえは、3しゆるいあります。

「2023」のさんすうクイズ その2

$$2023 = \square \times \square \times \square$$

2023は、三つの数のかけざんで表せます。

高学年のみなさん。チャレンジしてみよう!

## 湯の丸ゲレンデの風になれ！～2年生そり教室～



1月12日に2年生そり教室がありました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止になってしまったので「そり滑りは初めて！」という子も少なくありませんでした。出発前からウキウキ気分の2年生。その瞳が一番輝いたのは、駐車場から歩いて移動中、快晴の空から降り注ぐ強い日差しに照らされ、キラキラと銀色に輝く広大なゲレンデを目にした瞬間でした。「ウワーッ!!!」という歓喜の音が響き渡りました。コースの使い方やそり遊び中の約束を聞き、さあ滑走開始です。

少し緩やか斜面を選ぶか…。それとも最初からハードな斜面を選ぶか…。迷っている子もいましたが、全員決意を固めてスタンバイ。「よし！行くぞ！」とそりに飛び乗りましたが、歩くと「キュッキュッ」と音がするような圧雪したての雪の上はなかなかそりが滑りません。力強く足で地面を蹴ってそりを進める子もいれば、おそるおそるちょっとずつ、ちょっとずつ斜面が急になる部分までそりを進める子もいました。各自の性格が出ていて、見ていて楽しかったです。慣れてくると両手をオールのように使って勢いをつけて滑り出す子、まるでリュージュ選手のように体をきれいにまっすぐにして抵抗をなくし、はるか下の方まで滑っていく子、片手を上げて「メリークリスマス！」と叫びながら半月遅れのサンタクロースにふんずる子など、どの子も目一杯そり滑りを満喫していました。何十回も斜面を上った子どもたちは相当疲れたようでした。私たち職員も危険を避けるため、友だちと間隔を空けて滑るようにスタートの指示を出したり、一度はずした手袋が汗でぬれてはめられない子どもたちを手伝ったり、滑り終わった子が後ろから滑って来るそりにひかれられないように走り回って声をかけたりと大忙しでした。



それでも、はじけるような笑顔を見せる子どもたちを見ていると清々しい気持ちで一杯になりました。真っ青な空の下、風もなく暑いくらいの天候の中で実施できた「そり教室」は2年生のみんなにとって、とても素敵な思い出になったことでしょう。

## 氷の上なのに汗びっしょり～3年生スケート教室～

同じく12日に上田市民の森で3年生のスケート教室がありました。子どもたちは早く滑りたくて滑りたくてたまりません。元気よく準備運動を終え、スケート靴を借り、やる気満々。しかし…想像した以上にスケート靴を履くのに大苦戦。学校で練習はしておいたものの、3年生の力で紐をきつく縛ることは容易ではありません。目の前に広がる美しいリンク。なのに、靴がはけない…。そんな子どもたちの前に救世主登場！8名の保護者ボランティアの皆さんと児童館の前館長の荒井さんが一人一人に「きつ過ぎな





い?」「痛くないかな?」と声をかけながら手伝ってくれました。おかげで子どもたちは「よっしゃー!」とばかりに建物の外に出て行きましたが、外側のリンクを横断するときには、安全のため、先生の指示通り「ハイハイ」に。「大きな赤ちゃん」に変身していました。中央のリンクにたどり着き、いよいよ滑走スタート!と思われましたが、1年ぶりの子が多く、最初は手すりをギュッとつかみながらおそるおそる何cmかずつ進みます。滑走というより「滑歩」です。せっかく頭上に雲一つない青空

が広がるのに視線は足下に釘づけです。しかし、さすが3年生!すぐに昨年度の感覚を思い出し、10分もたたないうちに手すりから手を離して走ったり、滑ったりし始め、10分ほどで小さなリンクでは物足りなくなり、外側の広いリンクに飛び出していきました。ダイナミックに転ぶ子どももたくさんいましたが「七転び八起き」「失敗は成功のもと」の言葉のように、どの子どももすぐに立ち上がり、挫けることなく滑り続け、どんどん上達していきました。1月とは思えない暖かさに子どもたちは汗びっしょりになりながら、青空の下、最後まで笑顔一杯でスケートを満喫しました。



## 「大根」と「タブレット」～1年生の教室の様子から～



16日の午後のことです。1年生の教室を覗くと、窓側の2列は空席。真ん中の2列と廊下側の2列の子どもたちは、真剣な眼差しでタブレットと向き合っていました。「どうしたのかな?」と不思議に思って教室に入ると、後ろの出入り口の近くに座っていた女の子が一瞬私の方を見ましたが、すぐにまたタブレットに集中。子どもたちの画面を覗くと、1年生のみんなが取り組んでいたのはタブレットで取り組む計算ドリルでした。指を使いながらの子もいましたが、どの子どもも一生懸命。

。「なんだか受験生の教室みたい…。」と思うほどでした。

すると、テラスからカラフルな軍手をはめた子どもたちが元気な声で「交代だよー!」と入ってきました。状況が分かりました。順番に学級園の「大根抜き」をしていたのです。順番を待っている子どもたちはタブレット学習。デジタルとアナログの融合です。種まきをしたのが遅かったので、あまり大物は栽培できませんでしたが、みんな軍手を真っ黒

にして夢中になって土を掘り、折らずにきれいに大根が抜けると。「すごーい!大きい!」と大喜びでした。(大人が見れば決して大きな大根ではありませんが、1年生の子どもたちにとっては苦勞してゲットした超大物なのです。)



。「ねえ、大根に穴があいてる!」「モグラが食べたのかな?」「虫じゃないの?」なんて子どもたちの可愛い会話も聞こえてきました。子どもたちが作業をする時間には、風が少し強まり、小雪が舞ってきました。けれど、大根を一生懸命掘ったり、集中して計算練習をしたりする子どもたちの周りは熱気に溢れていました。



大根を一生懸命掘ったり、集中して計算練習をしたりする子どもたちの周りは熱気に溢れていました。

## 新しい発見! 学んで楽しい! ～4年理科の学習～

4年生が理科で「水のあたたまり方」の学習をしていました。スタンドに取り付けた試験管の上の方を温めたときと下の方を温めたときの水の温まり方を調べる実験です。実験装置を完成させた子ども



もたちは、先生から「みんな、もう角度は習ったかな？」と尋ねられると「うん、習った！」と元気に答えました。けれど「じゃあスタンドに取り付けた試験管の傾きの角度は何度くらい？」という質問には「うーん…。」と考え込む声や「30度くらい…？」と自信がなさそうな声がちらほら。急いで筆箱から分度器を取り出し、探偵がルーペを覗くように分度器を目に当て、試験管に顔を近づける子も。「確かに、教科書やプリントに描かれた図の角度を測るようにはいかないよな…。」と感じました。先生と約45度であることを確認し、さあアルコールランプで1分間温めます。安全眼鏡をしっかりと装着。マッチを上手に擦って火をつけ、ストップウォッチスタート！興味津々で試験管の中の水の様子を見つめていた子どもたちが、一番盛り上がったのは、試験管の下の部分を温めたのに、試験管の上の方の水が温かいことを指で感じた瞬間でした。試験管に触れ「わあっ！上の方が温かい！」「何で？」「どうして？」と声を上げる子どもたち。大発見をしたときの子どもたちのキラキラした瞳は本当に素敵です。いい場面を見られたなあと幸せな気持ちになりました。しかし、ちょっと出しゃばって「お風呂も上の方が熱くない？」と子どもたちに声をかけると、どの子も「えーっ、そうかな？」という反応。誰にも賛同してもらえませんでした。（※子どもたちのお家のお風呂はボタン1つで温かいお湯がたまるタイプなのでしょうね。年齢によるギャップに寂しさを感じました。）「空気も温めると上の方が温かいよ！」という気づきの声もありました。みんなこの時間に学んだことを一生懸命ノートにまとめていました。

理科に興味がある子が多く、休み時間に授業で行わなかった実験や理科にかかわる製作をしに理科室を訪れる子もいます。「自ら問いをもち、追究する和の子」の姿がたくさん見られています。



## クラス一丸となって！～5年生選挙活動に向けて～



5年生の教室では、何やらグループで製作をしていました。各学級の児童会長候補者の友だちの選挙ポスターと選挙活動中に使う襷づくりをしているところでした。できるだけきれいな字で下書きをすると、交代しながら丁寧に鉛筆で書いた下書きをなぞる姿や苦労しながらペンの太い方で目立つように書く姿からは「自分にできることで、精一杯協力したい！」という気持ちが伝わってきました。「候補者の～さんはどんな人？」とインタビューすると「とってもいい人！」「困った時に助けてくれる！」「クラスの雰囲気盛り上げてくれる明るい人！」「誰にでも親切で優しい！」などの子も即答してくれました。候補者になった子は照れくさそうに友だちの声を聞きながら「すごく嬉しいし、ありがたい。」「責任持って頑張ろうと思う！」と話してくれました。5年生の3学期はおそらく、小学校生活で一番忙しい期間だと思います。しかし、今回の選挙活動をはじめ、新児童会の発足や6年生を送る会等に向けての計画や準備を通して、各自が大きく成長し、学級や学年の団結が深まる時期です。24日（火）からは児童昇降口での広報活動や教室訪問が始まります。これからの5年生の活躍が楽しみです。

24日（火）からは児童昇降口での広報活動や教室訪問が始まります。これからの5年生の活躍が楽しみです。



# 美しい自然と多くの方の優しさに包まれた1日でした

～1年そり教室、4・5・6年スキー教室～



和の子どもたちの行いがよいからでしょう。20日の1年生そり教室と4・5・6年生スキー教室も素晴らしい好天に恵まれました。360度広がるスカイブルーの空と純白の山々、それを見るだけで「気持ちいい！」と叫びたくなるほどでした。新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年度は実施することができなかったため、たくさん子どもたちが月曜日からずっと「金曜日楽しみ！」と話していました。初めてのスキーという子や2年ぶりのスキーという子が多く、スキー靴を履くことや

板やストックを持ちながらスキー靴で移動するのは少し大変だったようです。また、初心者子どもたちは、リフトに乗る前に、何度も緩やかな坂を歩いて上り、滑り下る練習を繰り返したのでとても疲れたようでした。そりを楽しむ1年生は「もっと滑りたい！」という気持ちが強すぎて、滑り終えた後、まるで「雪上トレーニング？」のように、雪の坂を駆け上がる子がたくさんいました。見ている私たちが疲れてしまうような元気さでした。



## 【1年そり教室、4・5・6年スキー教室の日記から】

- ◇きょう、むかしかぞくといっしょにいったことがあるゆのまるスキーじょうで、学校のみんなど、さかになっているばしょをそりですべりました。たくさんすべったのであせがいっぱいでした。そりをやったあとのカレーとぶくじんづけはおいしかったです。
- ◇みんなとそりをしました。ゆきがくちにいっぱいとんできました。あじがしませんでした。しんぞうにわるかったです。さかがきゆうでした。
- ◇たくさんのぼってたくさんすべりました。そりの下からゆきがかおにかかってつめたかったです。でも、おもしろかったです。また、かぞくですべりにいきたいです。
- ◇スキーが好きになりました。インストラクターの先生は、転んだときの起き上がり方やブレーキのかけ方を教えてくださいました。最初は全然できなかったけど、やっていくうちにだんだん、先生に教えてもらいながらできるようになりました。先生の教え方が上手なのと、みんなのおかげで楽しくすべれました。
- ◇お昼の時間になりました。おなかぺこぺこなところにカレーのいいにおいが食よくそりました。お肉がほくほくでおかわりもしました。
- ◇友だちと久しぶりにみんなでスキーができて楽しかったし、インストラクターさんもおもしろくて優しかったです。またみんなと行きたいです。
- ◇八の字にして滑る練習をしました。八の字には慣れていなかったのでもとても役に立つ練習でした。リフトは同じ人とずっとではなく、色々な友だちと乗れました。昼のカレーは、つかれていたのでおさらおいしく感じました。



インストラクターさんたちは、少しでも子どもたちに楽しい思い出が残るようにと、とても丁寧に指導してくれました。また、なかなかうまく滑れない子どもたちを励ましたり、転倒した子どもたちのところに駆け寄って起こしたりしてくれました。レンタルショップの方々は、初めてスキーを体験する子どもたち一人一人に、足が痛くなりづらい履き方やベルト調節の仕方を教え、サイズ交換にも快く応じてくれました。レストランの方々はお代わりをしに来る子どもたちに笑顔で対応し「たくさん食べてね！」「辛くない？」と気遣ってくれました。1年生の中には「おいしくて家以外で初めてお代わりをした！」という子もいました。スキー教室がとても楽しいものになったのは、支えてくれる周りの方々の優しさがあったからだということを忘れないでほしいです。生まれ育った地域にこんな素敵な場所がある和の子どもたちは幸せだなあと感じました。



## 「命の大切さ」を常に意識できるように

先日「下校時に消防庫前で飛び出す子がいて危険。私も運転する時は注意するけれど、学校でも子どもたちに話してほしい。」という連絡をいただきました。和の子どもたちのことを大切に思う地域の方の声、とてもありがたいと感じました。すぐに各担任から学級の子どもたちに指導しました。この頃、子どもが巻き込まれる事故のニュースが増えています。ぜひ各家庭でも交通安全についてはもちろん「命の大切さ」について子どもたちにお話してください。子どもたち一人一人がそれを意識することができれば、危険な行動は減ると思います。

## 4・5年生47名で始動～管楽器部～



6年生引退後、新たに、4年生21人と友だちや6年生の姿を見て「自分もやってみたい!」という思いをもった5年生6名が入部し、4・5年生総勢47名で管楽器部の活動が始動しました。12月後半に初めて楽器に触れ、嬉しさを感じつつも、その重さと難しさを知りました。3学期は密を避けながら、1年間練習を積んできた5年生に教えてもらいながら練習しています。寒さも厳しくなってきましたが、朝早くから足早に練習に通う部員さんの姿に頭が下がります。曲を完成させるまでには、たくさんの苦労があり、努力を要することでしょう。しかし、その過程で仲間と1つの音楽をつくる喜びを感じられるはずです。頑張ってください。

## 教えて! 両角先生～養護教諭へインタビュー～

Q「この頃保健室にはどんな子が多く来ますか？」

A「便秘気味での腹痛の子が多いようです。」

Q「何かいい対策はありますか？」

A「まずは毎朝トイレに座る習慣が大切です。朝は体の機能が一番排便しやすいんです。朝食も大切! 胃腸の動きがよくなり排便しやすくなります。その他にはマット運動や跳び箱で、手をついたときや着地の時に手や足をひねってしまったという理由での来室も増えています。しっかり体や指先を温めてから運動してください。」  
担任一同十分注意して指導したいと思います。

## 2月の予定

- 1日(水) 一斉安全点検日
- 2日(木) 児童会立会演説会・選挙  
CS「かのう学校」運営委員会
- 3日(金) 3年生参観日  
児童会長選挙結果発表
- 4日(土) 版画展(サントミュージゼ～13)
- 6日(月) 学校集金口座振替日
- 7日(火) 来入児1日入学・保護者会
- 9日(木) 児童総会
- 10日(金) 4年生参観日
- 13日(月) 学校評議員会  
教育支援ボランティアの会
- 14日(火) スクールカウンセラー来校日  
人権啓発作品巡回展(～22)
- 15日(水) 2年生参観日
- 16日(木) 準備児童会
- 17日(金) 1年生授業参観日  
図書館貸し出し最終日
- 18日(土) 東御市ポッチャ大会
- 22日(水) 6年生参観日
- 24日(金) 5年生参観日 地区児童会  
\*\*\*\*\*

1月17日の夜、和小学校の校庭を会場に、中央公民館主催の冬の星座観察会が開かれました。昼間は雲一つない天気でしたが、いざ観察会が始まると、少し雲がかかってしまい、「満天の星空」というわけにはいきませんでした。しかし、流れる雲は思いのほか速く、切れ間から見える木星や火星や金星といった惑星や、オリオン座・ふたご座といった星座、冬の大三角などについて、講師の小菅さんから、たくさんの興味深いお話を聞かせていただきました。

星をながめながら、高台という立地のおかげで、周りの明かりの影響をあまり受けずに星空が見られる、和小学校の環境のありがたさを改めて実感するひとときでした。

文責・作成：校長 教頭